

平成22年度

決算報告書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

国立大学法人 名古屋工業大学

第7期事業年度

平成22年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,876	4,876	-	
施設整備費補助金	206	548	342	(注1)
補助金等収入	-	432	432	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	25	△3	
自己収入	3,591	3,665	73	
授業料、入学料及び検定料収入	3,468	3,451	△17	(注3)
雑収入	124	214	90	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,489	1,949	460	(注5)
長期借入金収入	-	-	-	
計	10,191	11,495	1,304	
支出				
業務費	8,468	8,512	44	
教育研究経費	8,468	8,512	44	(注6)
診療経費				
施設整備費	234	573	339	(注7)
補助金等	-	431	431	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,489	1,744	255	(注9)
長期借入金償還金				
計	10,191	11,260	1,070	
収入－支出	-	234	234	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、前期からの事業が繰越されたこと及び平成22年度補正予算の追加により予算金額に比して決算金額が342百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算作成段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が432百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は26百万円となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として学生在籍者見込数の減などにより、予算金額に比して決算金額が17百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として本学独自の公開講座のプロジェクトの拡大及び特許権収入の増収等により決算金額が90百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が460百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は166百万円となっています。
- (注6) 教育研究経費については、教育研究の充実を図ったため予算金額に比して決算金額が44百万円多額となっています。
- (注7) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が339百万円多額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が431百万円多額となっています。
- (注9) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が255百万円多額となっています。